



〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地  
釧路市総合政策部市民協働推進課

## 令和元年度「くしろ男女いきいき参画表彰」受賞者の紹介

この表彰制度は、女性活躍の促進や子育てしやすい環境の充実、女性のチカラを活かした地域の活性化など男女平等参画社会の推進に関わる活動に取り組む個人・企業・団体・グループおよびその活動を支援している企業・団体・グループを顕彰することで男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的に平成28年度に創設されたものです。令和元年度栄えある受賞者は・・・

### 【一般社団法人 音別ふき落団】様

地域資源を活かした一つの取り組みが、農地の有効活用、山菜工場の再開、元酪農家の地域住民の協力と雇用、そして生きづらさを感じている多様な方々の社会参加を実現し、多くの波及効果を生んでいます。「食」に注目した事業であるところが、まさに女性代表者ならではの発想であり評価につながりました。女性が大いに活躍し多様性を重んじる社会が推進されていくことに、更なる期待が寄せられています。



### 【サーセンキョ！】様

堅苦しく感じられる「政治」を「選挙を楽しむ」をテーマに子育て世代の女性や若者の関心を高め、投票率アップにつなげようという新たな取り組みです。「楽しむ」を広く伝えるために、女性ならではのアイデアやデザインが多く取り入れられ、若い男女が共同した取り組みであることが評価されました。若者による政治への関心を高めるための活動が、これからの社会や政治に、より多様な意見を反映することにつながっていくことに更なる期待が寄せられています。



## 道外派遣研修事業の参加者から報告を受けました

去る8月29日から31日にかけて、埼玉県比企郡嵐山町にある「国立女性教育会館」において「男女共同参画推進フォーラム」が開催され、釧路市からは一般公募の結果「中森莉沙さん（釧路市社会福祉協議会勤務）」が参加しました。中森さんからフォーラムに参加した感想の報告がありましたので紹介します。

【報告】今の女性に与えられている権利は、日本国憲法策定に大きく関わった女性とその礎を築いたことを知り、努力があって得られた権利であり、過去からあたりまえにあった権利ではないことを改めて認識しました。またこのフォーラムへ参加した方々が自分も含め同じ方向性を志す仲間であり、一人一人の力では微力であっても、全国にネットワークがあれば大きな力となることを感じ、女性の立場や社会進出について考える良い機会となりました。これからの自分の仕事や活動にも活かしていきたいと思えます。



# 男女平等参画セミナーを開催しました



## ～ワーク・ライフ・バランスを学ぶ～チームでサポートしあう職場風土

釧路市では官民ともに同じ意識で男女平等参画社会の推進に取り組むことを目的に「男女平等参画セミナー」を開催しています。今年度はホワイトボード・ミーティング®認定講師畑中久代氏を招き11月7日開催しました。各職場の管理職の方が仕事と家庭の調和を図るために、自ら率先して実施していることや、現状の課題を講師のリードによりホワイトボードに書き出しグループで意見交換や情報共有を行いました。

- ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活を5:5にすることではなくそれぞれバランスをとること
- 職場において部下の考え方を聞き出せる手法を学ぶことが必要
- 仕事の標準化を図ることで、休暇を取りやすい環境をつくる
- 情報共有は大切であるが、情報量が多すぎてもパンクする
- 職場と同様家庭でのコミュニケーションも非常に大事であるなどの、意見を参加者から聞くことができました。

【参加事業所等】釧路商工会議所・釧路信用組合・釧路製作所・白崎建設・トップオブ釧路・日本政策金融公庫・北海道中小企業家同友会・北海道中小企業団体中央会・ポータス・美警・三ツ輪運輸・釧路総合振興局・釧路財務事務所・釧路地方検察庁・釧路職業安定所・釧路市役所（敬称略）



## 株式会社釧路製作所さんの取り組みについてお話を聞きました

釧路製作所さんは、今年度北海道働き方改革推進企業認定制度における「シルバー認定」を受け、続いて「働き方改革推進企業・女性活躍表彰」を受賞されました。その取り組みなど新名社長からお話を伺いました。

Q1 女性社員は何人ですか？

A1 85人中、7人です。(内事務職1、技術・技能系6人)

Q2 シルバー認定を受けようと思った経過を聞かせてください。

A2 女性の採用、育成、働きやすい環境づくり、地域での活動を多くの方に知ってもらい、人材確保につなげたいとの思いからです。

Q3 具体的にどんな取り組みをされていますか？

A3 短時間労働制度(育児)、介護休暇の有給化、女性用トイレや更衣室の整備、女性の技術力向上のため溶接技術競技会へ参加、非正規社員から正規社員への転換制度、インターンシップや見学の積極的な受け入れ、地元高等専門学校や工業高校との連携強化、配偶者出産休暇、出産祝い金制度創設などに取り組んでいます。

Q4 今後の課題や目標は何ですか？

A4 男職場と言われた会社が女性採用に踏み切るには、環境整備に投資が必要であったり、就業規則を変更したり、新たな制度を創設したり乗り越える壁は多々あります。しかし、この会社を長く存続させるためには、女性社員が継続して働いてくれること、今後女性の採用が定着し管理職が育っていくこと、地元で働ける場があることを宣伝していくことが大事であり、すべては「人」が基本で人材の確保が重要なポイントであると考えています。

釧路製作所さんは、公的評価を受けたことを活かし、今後の会社経営にプラスとなるよう企業努力を続けています。

【我が社の女性活躍への取り組みはまだまだスタートしたばかり、これから定着させていくことが大事】と新名社長、田邊副室長の熱い思いを聞かせていただきました。ありがとうございました。そして受賞おめでとうございます。



【連絡先】 釧路市総合政策部市民協働推進課

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地 TEL 0154-31-4504

FAX 0154-23-5220 E-mail : shi-shiminkyoudou@city.kushiro.lg.jp